

採点表（土木設計）

業務名：

（監督員）

評価項目	評価の視点	配点	得点率	得点	評価細目
専門技術力	提案力、改善力	業務着手段階における業務特性等の考慮	20	評価細目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.8」 2⇒「1.0」	当該業務の仕様や発注者からの指示等を満たす提案がなされた。 当該業務の特性を考慮しつつ、新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に関する提案がなされた。
		業務遂行段階における提案	40	評価細目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.8」 2⇒「1.0」	業務遂行段階で新たな視点からの提案がなされた。 関連する多面的な視点から検討された、あるいは高度な技術レベルに基づく提案がなされた。
		業務遂行上必要となる課題の提案	20	評価細目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.8」 2⇒「1.0」	当該業務で不足する課題が抽出された。 検討課題と共に今後実施すべき検討事項・方針等が提案された。
		業務内容等改善の提案	20	評価細目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.8」 2⇒「1.0」	業務の作業効率を向上させる提案が、自主的になされた。 業務の内容・精度を向上させる提案が、自主的になされた。
	小計	100			
専門技術力	業務執行技術力	目的と内容の理解	20	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」	業務計画書に必要事項が記載されていた。 当該業務の目的、内容が理解されていた。 業務計画書の実施方法等に、業務内容を具体化する記述があった。 特記仕様書等に示された当該業務と関連する他の業務、事業が理解されていた。
		必要情報の把握	20	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」	業務着手時点において、適切に資料等が整備された。 業務実施の各段階で、入手した資料が理解・活用されていた。 業務遂行段階で、新たに必要とされた情報収集の努力がなされていた。 業務遂行段階で、当該業務に有意な情報が自主的に提供された。
		検討項目、検討手法	20	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」	検討項目は、特記仕様書等の設計図書の内容を満足していた。 採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。 業務目的に照らし必要な検討項目が不足なく設定され、検討項目間の整合も図られていた。 提案された検討手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。
		打ち合わせ資料の内容	20	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」	打ち合わせ資料に大きなミスがなかった。 打ち合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題等が適切に盛り込まれていた。 打ち合わせ資料に、業務を進めるにあたっての課題解決策や提案等が適切に盛り込まれていた。 適用する諸基準類のない業務、若しくは難易度の高い業務等を進めるにあたり、的確な理論展開による説明が盛り込まれていた。
		十分な技術力	20	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」	業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。 特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。 業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。 新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。
小計	100				
専門技術力	施工時への配慮	施工に関する一般的な知識	40	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」	設計、図面作成において留意すべき、施工に関する一般的な知識を有していた。 施工方法の検討において一般的に留意すべき点を理解していた。 施工方法の内容及び長所・短所に関する一般的な知識を有していた。

採点表（土木設計）

業務名：

（監督員）

評価項目		評価の視点	配点	得点率	得点	評価細目
		施工条件の把握	30	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」		施工方法が周辺環境におよぼす一般的な影響を理解していた。
						当該地点における施工上の制約条件や問題点を把握していた。
						当該地域の環境特性を把握していた。
						担当者の施工に係わる要求事項を把握していた。
		施工計画（施工方法、仮設備計画）	30	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」		必要事項を記載した施工計画が提案された。
						施工条件を的確に踏まえた施工方法、仮設備計画が提案された。
						工事が周辺環境に及ぼす影響を考慮した上で、施工方法、仮設備計画が提案された。
						当該工事箇所における施工上の留意事項が、重要度別かつ施工段階毎に適切に整理する提案がなされた。
小計			100			
専門技術力	コスト把握能力	コスト把握能力	100	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」		工事費に関するコスト把握能力を有していた。
						現地条件などの固有条件がコストに及ぼす影響を理解していた。
小計			100			
管理技術力	工程管理能力	実施手順、工程計画	30	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」		契約書等に記載された期限内（ex. 契約締結後14日以内）に業務工程表が提出され、速やかに業務の着手がなされた。
						業務実施方針及び工程表には、設計図書に示された事項が適切に反映されていた。
		実施体制	10	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」		契約図書に基づき、管理技術者届け及び業務計画書が提出された。
						業務計画書に示された業務組織計画に基づく実施体制により、業務が履行された。
		打合せ内容の理解、記録	20	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」		打合せ記録簿が、打合せ後速やかに提出された。
打合せ記録簿の記載内容が打ち合わせ結果を適切に反映し、打合せ後の進め方や懸念事項等が的確に整理されていた。						
工程管理	40	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」		受注者内（再委託先等を含む）で意志疎通がなされ、指示や打ち合わせ事項が、その後の資料等に適切に反映されていた。		
				打合せ時に生じた不明点等の協議・確認が適切になされ、打合せ内容が理解された（打合せ後に不明点等に対する問い合わせ等を発注者に行うことはなかった）。		
小計			100			
管理技術力	品質管理能力	ミス防止の実施	100	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」		業務計画書等に、照査体制、照査計画等が記載されていた。
						業務計画書等に照査担当者が配置されていた。

採点表（土木設計）

業務名：

（監督員）

評価項目	評価の視点	配点	得点率	得点	評価細目
			2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」		照査報告書等の品質管理の記録により、照査が実施されたことを確認できた。 品質管理のためのシステムが構築されている部署で業務が行われ、かつ、それらの成果への反映について確認できた。（e x . I S O 9 0 0 1等の認証取得状況と成果への反映の確認）
		小計	100		
管理技術力	迅速性、弾力性、調整能力	当初計画の変更	40	評価細目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.8」 2⇒「1.0」	業務遂行中に生じた、当初工程計画や業務内容の変更要請、あるいは監督員の指示等に迅速に対応した。 その結果生じた検討内容が特に優れていた。
		関連事業者間の調整	30	評価細目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.8」 2⇒「1.0」	発注者からの指示、あるいは発注者との協議結果に基づき、関連事業者間の調整に係わる提案資料が作成された。 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		地元住民との合意形成	30	評価細目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.8」 2⇒「1.0」	発注者からの指示、あるいは発注者との協議結果に基づき、地元住民等との合意形成（円滑な業務履行の確保に資する地元等への配慮等を含む）に係わる提案資料が作成された。 作成された資料の内容が特に良くとりまとめられていた。
		小計	100		
コミュニケーション力	説明力、協調性、プレゼンテーション力	理解しやすい説明・プレゼンテーション（資料）	30	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」	日時・場所・参加者・目次・頁等が明記された資料となっていた。 図表等を用いることにより、理解しやすい資料となっていた。 資料の内容が簡潔明瞭であり、理解しやすい資料となっていた。 資料の要約が作成されており、容易に内容を捉えることができた。
		理解しやすい説明・プレゼンテーション（対応）	30	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」	打合せ開始時に、打合せの趣旨・目的が説明された。 質問に対する確かな回答がなされた、又は即答できない場合には回答期限が提示された。 一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。 曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
		説明を補う努力	20	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」	説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力されていた。 説明が不十分の場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。 相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。 説明を補足するための的確な資料が、周到に用意されていた。
		円滑な業務遂行への努力	20	評価細目チェック数 0⇒「0.6」 1⇒「0.8」 2⇒「1.0」	密に業務の進捗状況等が発注者に報告されていた。 業務遂行上、課題や問題点が発生した場合に迅速に報告がなされた。
		小計	100		
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性	100	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」	管理技術者、照査技術者、担当技術者として、責任逃れの言動は無かった。 打合せにおいて確認・解決すべき事項について見逃しなかった。 業務遂行に誤りが無いよう、必要に応じ協議事項・決定事項等が再確認されていた。 業務遂行段階において不明な点が生じた場合、問い合わせや確認が迅速になされた。
		小計	100		
成果品の品質	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」	設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。 業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。 業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。

採点表（土木設計）

業務名：

（監督員）

評価項目	評価の視点	配点	得点率	得点	評価細目			
					高度な技術レベル、多岐にわたる検討項目など、難易度の高い業務に対し必要な業務成果が得られた。			
					的確なとりまとめ	30	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」	設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。
								理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。
								簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。
設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。								
	ミスの有無	30			チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。			
					成果品の品質に大きく影響しない（簡易に修正できる）表記・計算等のミスも認められなかった。			
					誤字・脱字、表記等、軽微なミスも認められなかった。			
					必要書類も整備されていた。			
小計		100						

採点表（土木設計）

業務名：

（主任監督員）

評価項目		評価の視点	配点	得点率	得点	評価細目
専門技術力	業務執行技術力	業務執行技術力	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」（基準点）、「0.8」、「1.0」を付与する。		当該業務の目的と内容の理解について、特に評価できるものであった。
						当該業務に必要な情報の把握について、特に評価できるものであった。
						当該業務に対する検討項目及び検討手法について、特に評価できるものであった。
						当該業務の打合せ資料の内容について、特に評価できるものであった。
						当該業務に必要とされる技術力を十分に発揮し、特に評価できるものであった。
						その他（理由）：
		小計	100			
取組姿勢	責任感、積極性、倫理観	責任感、積極性、倫理観	100	右記評価細目の該当項目を総合的に判断して「0.2」、「0.4」、「0.6」（基準点）、「0.8」、「1.0」を付与する。		企業として積極的に技術の研鑽に取り組んでいる。
						当該業務遂行にあたって、取り組みへの積極性・責任感に対して評価できるものであった。
						地域への貢献等に関して、特に評価できるものであった。
						業務遂行中、新たに発生した課題等に対して、社内全体として体制の拡充を図る等により、業務を完成させた。
						その他（理由）：
		小計	100			
業務執行に係る過失に伴う減点	業務遂行上の過失	業務遂行上の過失	0	評価細目 χ 数1つ毎に3点減点		業務執行上、指摘又は指導等を行ったが、改善されなかった。
						関係者から苦情が寄せられる等、問題が認められた。又は、問題発生時の情報連絡等、対応が適切に行われなかった。
						業務処理のミスにより大きな手戻りが生じた。
						業務実施体制に問題があった。
						その他（理由）：
守秘性に係る過失	守秘性に係る過失	守秘性に係る過失	0	評価細目 χ 数1つ毎に3点減点（ χ は1つまで）		業務に関する情報漏洩があり、受注者の責任によるものと発注者が判断した。
						その他（理由）：
法令遵守	法令遵守	法令遵守	0	評価細目に該当すれば10点減点		入札参加停止1カ月超
		小計	0			

採点表（土木設計）

業務名：

（検査担当）

評価項目	評価の視点	配点	得点率	得点	評価細目	
専門技術力	業務執行技術力	検討項目、検討手法	50	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」		検討項目は、特記仕様書等の設計図書項目を満足していた。
						採用された検討手法の技術的内容は、業務の目的に適合していた。
	業務目的に照らし必要な検討項目が不足無く設定され、検討項目間の整合も図られていた。					
		提案された業務手法は、従来技術を応用・統合化あるいは先進技術を活用するなど、難易度の高いものであった。				
	十分な技術力	50		評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」		業務に必要な技術基準、マニュアル、共通仕様書等が十分に理解されていた。
						特記仕様書等に示された当該業務固有の条件に対応可能な十分な技術力を有していた。
						業務遂行段階において、発生した課題や発注者から新たに指示された事項について十分満足できる解決が図られていた。
						新たな、あるいは高度な調査・解析・設計等の手法・技術に十分対応できる能力を有していた。
	小計	100				
コミュニケーション力	説明力、協調性、プレゼンテーション力	説明力、協調性、プレゼンテーション力	100	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」		質問に対する的確な回答がなされ、一般論と当該業務固有の議論が明確に区別されていた。
						曖昧な表現がない、的確かつ論理的な説明により、内容が容易に理解できた。
	説明の際に、相手の理解度を把握するよう努力され、相手の理解度に応じ、説明のポイント・速さ等が工夫されていた。					
						説明当事者の説明が十分なされた。または、説明が不十分な場合、他のメンバーにより補足説明がなされた。
	小計	100				
成果品の品質	成果品の品質	目的の達成度	40	評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」		設計図書に提示された項目が、漏れなく実施された。
						業務遂行段階での指示事項が、漏れなく実施された。
						業務成果は、業務目的に照らし満足できる内容のものであった。
	的確なとりまとめ	30		評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」		設計図書にある検討項目、業務遂行段階での指示事項を、漏れなく取りまとめている。
						理解しづらい文章表現等は、ほとんど認められない。
						簡潔で理解しやすい表現になっており、記載方法に創意工夫がみられ読みやすい。
						設計図書にある事項、業務遂行段階での指示事項を関連づけ、重要な点が理解しやすく取りまとめられている。
	ミスの有無	30		評価細目チェック数 0⇒「0.2」 1⇒「0.4」 2⇒「0.6」 3⇒「0.8」 4⇒「1.0」		チェック方法に努力と工夫が見られた成果品であった。
						成果品の品質に大きく影響しない（簡易に修正できる）表記・計算等のミスも認められなかった。
						誤字・脱字、表記等、軽微なミスも認められなかった。
						必要書類等も整備されていた。
	小計	100				